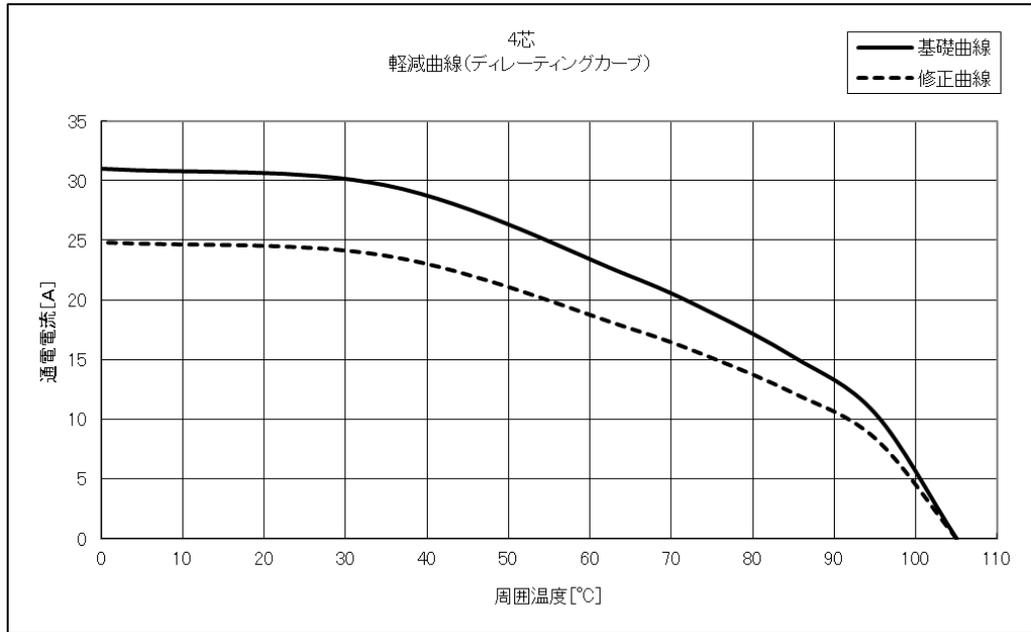


適用規格						
定格	使用温度範囲 <sup>(2)</sup>	-40 °C ~ +105 °C	保存温度範囲	-10 °C ~ +60 °C		
	電圧	AC 30 V , DC 42 V	電線サイズ	電源 : AWG#14~16 信号 : AWG#22~24		
	電流 <sup>(1)(5)</sup> 	電源:24 A(周囲温度25°C時) 信号 : 1 A	適合ケーブル	電源 : φ2.6~3.0 信号 : φ1.4~1.6		
性能						
	項目	試験方法	規格	QT	AT	
構造	外観、構造及び仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○	
	表示	目視にて確認する。		○	○	
電気的性能	接触抵抗	単位コネクタをDC 1 Aで測定する。	10 mΩ以下(電源端子) 15 mΩ以下(信号端子)	○	○	
	絶縁抵抗	DC 500 Vで測定する。	1000 MΩ以上	○	○	
	耐電圧	AC 600 Vの電圧を2 min印加する。	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	○	
機械的性能	コネクタの挿抜力	φ1.98 <sup>+0.003</sup> <sub>0</sub> の鋼製ピンで測定する。 φ0.98 <sup>+0.003</sup> <sub>0</sub> の鋼製ピンで測定する。	挿抜力 1 N 以上 (電源端子) 挿抜力 0.2 N 以上 (信号端子)	○	—	
	コネクタの挿抜力 	適合コネクタで測定する。(ロック機構を除く)	挿抜力 60 N以下	○	—	
	繰り返し動作	30 回の抜き差しを行う。	接触抵抗: 10 mΩ以下(電源端子) 15 mΩ以下(信号端子)	○	—	
	耐振性	周波数 10~55~10 Hz/サイクル, 片振幅 0.75 mm, 5 min/サイクルで3軸方向各10サイクル試験する。	①10 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損, ひび, 部品のゆるみがないこと	○	—	
環境性能	耐衝撃性	加速度 500 m/s <sup>2</sup> , 持続時間 11 ms, 正弦半波3軸両方各 3 回試験する。	①10 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損, ひび, 部品のゆるみがないこと	○	—	
	定常状態の耐湿性	温度 40°C, 湿度 90~95 %中に 96h放置する。	①絶縁抵抗: 10 MΩ以上 (高湿時) ②絶縁抵抗: 100 MΩ以上 (乾燥時) ③破損, ひび, 部品のゆるみがないこと	○	—	
	温度サイクル	温度 -40 °C →常温 → +105 °C →常温 時間 30 →2~3 → 30 → 2~3 min を 5サイクル試験する。	①絶縁抵抗: 100 MΩ以上 ②破損, ひび, 部品のゆるみがないこと	○	—	
	塩水噴霧 <sup>(3)</sup>	適合コネクタをかん合した状態で、 濃度 5 %の塩水, 48 h放置する。	機能を損なうようなはなはだしい腐食がないこと。	○	—	
	耐熱性	温度 +105 °C中に 96 h放置する。	破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—	
	耐寒性	温度 -40 °C中に 96 h放置する。	破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—	
	耐水圧性 <sup>(3)</sup> (IPX7) (JIS C 0920:2003)	適合コネクタをかん合した状態で水深1 mに 0.5 h 放置する。	コネクタ内部への浸水がないこと。	○	—	
	耐気圧性 <sup>(3)</sup>	適合コネクタをかん合した状態で、コネクタ内部にエア 圧17.6 kPaを30 s加える。	コネクタ内部より気泡の発生がないこと。	○	—	
耐水圧性 <sup>(3)</sup> (IPX6)  (JIS C 0920:2003)	適合コネクタをかん合した状態で、3mの距離から全 方向に100L/minの噴流水を3min噴射する。	コネクタ内部への浸水がないこと。	○	—		
	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日	
	3	2	DIS-C-00009416	SH. KOYAMA	EJ. KUNII	20211215
備考	注(1) 上記規格値は適合端子: BH12-SC-213, BH12-SC1-213を組込んだ状態での値を示す。 (2) 通電による温度上昇を含む。 (3) 塩水噴霧、耐水圧性、耐気圧性は、結線部を封止した状態で試験を行う。			承認	YH. YAMADA	20200128
				検図	HN. TANAKA	20200128
				担当	SH. KOYAMA	20200128
	試験規格の記載のない試験方法はIEC 60512(JIS C 5402)を適用している。			製図	SH. KOYAMA	20200128
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目			図番	SLC-390398-00-00		
	製品規格表		製品名	BH12WP-3SC		
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL0140-0011-0-00	 2/2	



[参考]



注(4) 軽減曲線(ディレーティングカーブ)における修正曲線(破線)は、基礎曲線における80%の電流値です。

注(5) 定格電流は、コネクタが使われる周囲温度により変わります。

軽減曲線(破線)より内側でのご使用をお勧めします。

注(6) 本品のディレーティングカーブの測定方法は以下によります。

- ・初期の本製品を使用。
  - ・使用するケーブルの公称断面積：電源…2.0mm<sup>2</sup>(AWG#14)、信号…0.3mm<sup>2</sup>(AWG#22)
  - ・静止状態で通電し、測定。
- (詳細は試験成績書管理番号TR140B-20045による。)

注 QT:確認試験 AT:製品検査 O:適用項目

図番

SLC-390398-00-00

**HRS**

製品規格表

製品名

BH12WP-3SC

ヒロセ電機株式会社

製品コード

CL0140-0011-0-00



2/2